

# Child care support 子育てに悩む ママ・パパを支援



NPO 法人育ちあいサポートブーケ  
本田 澄江さん

## 自分の時間でリラックス

「子育て中のママさんの気持ちや和らぐと、子どもも良い顔になるんですよ」  
そう話すのは本田澄江さん。NPO法人「育ちあいサポートブーケ」の理事として、子育て支援をしています。  
「子育て中は何かと悩みが尽きません。そんなママさんたちに寄り添うための活動を続けているんです」  
元年9月には、みつなか

ホール隣のシャンテ川西1階に子育てほっとステーション「ブーケのおうち」を開設。本田さんが中心となり、管理を行っています。  
「ブーケのおうち」では、スタッフも一緒に子どもを見守りながら、お茶を飲んだり読書でリフレッシュしたり、ママさんは自分の時間を過ごせます。母親同士で悩みを共有し合ったり、子どもの話をしたりと情報交換ができる交流の場にもなっています」

人との関わりが好循環に  
常に親子が主体であることを基本に、女性の身近な社会参画や主体的な活動を応援す



る取り組みを行っている。本田さんは話します。  
「ワークシヨップでは現役ママや先輩ママたちが講師を務めるなど活躍しています。趣味を生かしスキルを身に付けることがママさんたちの力づけ(エンパワー)になればと思っています。ママさんたちの社会参加で、親子に様々な関わり合いが生まれます」  
本田さんは核家族が進む今、子どもに幅広い年代との関わりが必要だと考えます。  
「ブーケ」のメンバーにはシニアスタッフもいるんですよ。普段なかなか会えない祖父母に代わって身近な「じいじ」や「ばあば」と遊ぶこと

ができます。また、シニアスタッフも子どもとの関わりが活力になるんです」  
「子育ての困難さ」を軽減するためには、親子の居場所や人との関わり合いが欠かせないと本田さん。  
「コロナ禍のため、現在は時間を短縮し、内容を一部変更して開室していますが、ママさんはもちろん、最近ではパパさんの利用も増えていきます。『ブーケのおうち』でほっと一息ついてみませんか」

ブーケのおうち Instagramはこちら

「ブーケ通信」  
子育ての困りごとを解決する「ブーケ通信」  
子育ての困りごとを解決する「ブーケ通信」  
子育ての困りごとを解決する「ブーケ通信」



## 新タマネギのみそクリームスープ

やさしく広がる旬の甘み

おとな子どもも  
食と育つ  
保健センター  
☎ 072(758) 4721

レシピ 川西いずみ会  
●材料・切り方 2人分  
新タマネギ(薄切り)..... 1個(150g)  
細ネギ(小口切り)..... 1本  
だし汁..... 200cc  
豆乳(無調整)..... 100cc  
【A】鶏がらスープの素(顆粒)(小さじ4分の1)、白みそ(大さじ1)、塩(少々)  
熱量(おとな1人分): 89kcal、塩分: 0.7g

●作り方  
①フライパンにサラダ油(分量外)を熱して、新タマネギを炒めしんなりしたらだし汁を加えて5分程度煮る。  
②粗熱を取ってミキサーにかけ、なめらかにする。鍋に入れ豆乳を加える。沸騰直前まで温めて火を止め、Aで味を調える。器に盛り、細ネギを散らす。

春が旬の新タマネギは、甘みが強くみずみずしい味が特徴です。タマネギには血栓をできにくくする辛味・香り成分が含まれます。

生きる  
人権推進課  
☎ 072(740) 1150

## 自分らしく生きることII

他人ごとではなく自分ごとに  
一人ひとりの意識の変化が必要

このコラムも今回で最後となりました。1年間僕自身の経験を通して、皆さんにお伝えしたいことを書いてきました。世の中にはたくさんの悩みや問題、差別や偏見などがあり生きづらさを抱えている人がたくさんいます。

僕自身も、悩みやつらいことがなくなった訳ではありません。「男性の身体で生まれていたら」と思うことはあります。それは死ぬまで消えないことだと思います。でも、僕は子どもが生まれ最高に幸せだった時にどん底に落とされました。「これ以上苦しくつらいことはない。この時のことを考えたら今の悩みなんて、どうでもいい」と思うようになりました。せつなく生きるなら、楽しく毎日を生きた方がいいと思いました。

一人ひとり幸せや楽しいこと、悩みやつらさも違います。生きやすくするためには一人ひとりの意識を変えていかないとはいけません。誰かの問題だから自分には関係ないではなく、みんなの問題だからみんなで考えよう。他人ごとではなく、自分ごととして捉えていくことが大切だと思います。

皆さんも一度、「自分らしく生きること」や「幸せ、楽しいこと」ってなんだろう?って考えてみてください。

時間がかかりましたが、僕は女性の身体で生まれてきてよかったと思えるようになりました。なぜなら、このように生まれてなかったら、妻と子どもたちに出会うことができなかったからです。

世の中には、いろんな人がいて、いろんな性があり、生き方があり、いろんな家族のカタチがあります。

僕は今、幸せです。1年間、ありがとうございました。  
(Like myself 代表 前田良)

消費生活センターだより  
消費生活センター  
☎ 072(740) 1167

## フリマサイトでのトラブル

フリマサイトは個人同士の取引  
原則当事者間で解決しなければなりません

事例1 フリマサイトでブランドのアクセサリーを見つけた。安すぎるので心配だったが、不要になり格安で出品しているのだと思った。サイトが商品代金をいったん預かり、商品が届いたら出品者に代金が支払われるシステムになっていた。無事に届いたので受け取りの報告をした。数日後、出品者が同じアクセサリーを複数出品しているのを見つけ不安になった。買い取り業者に鑑定してもらったら「保証書は偽造、18Kはメッキ」と言われた。フリマサイトに連絡したが「当事者間で話し合ってください」と言われた。(30歳代女性)

事例2 中古車専門のフリマサイトで車を購入した。納車され確認するとボディに傷があった。出品ページの写真に傷は写っておらず説明もなかった。匿名取引だったので「修理代を払ってほしい」とサイトから出品者に伝えてもらったが「出品者から傷はない」という返事があり、それ以上の交渉はしてくれない。(30歳代女性)

フリマサイトとは、インターネット上のフリーマーケットのことです。家に居ながら不用品を売ったり、気に入ったものを買ったりすることができます。サイトは取引の場を提供するのみ。トラブルが起きても当事者間で話し合うように言われるなど、原則自己責任で対処しなければなりません。出品者情報から過去の取引を確認する、商品説明は最後まで読む、高額取引は慎重にするなどリスクが最小限になるようにしておきましょう。特に受け取りの報告をすると商品代金が出品者に支払われるため解決がより難しくなります。サイトによって対応が違うので規約をよく読んで利用しましょう。